

教科名 国 語

番号	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
観 点	東書	002-72、002-82、002-92
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等〕	<p>○〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～集めた情報の整理の仕方を身に付け、図表を入れたレポートを書く活動や、浦島太郎について書かれた文章を読み、古典を学ぶ意味を考える活動</p> <p>第2学年～必要な情報に着目し、囲みや矢印、表を使い整理する活動や、写真資料を使って古典を学び、筆者のものの見方や考え方を捉える活動</p> <p>第3学年～インターネットなどで調べることを通して、情報の信頼性と客観性を吟味する活動や、古典の言葉を読み味わい、一節を引用して考えを書く活動</p> <p>○〔思考力・判断力・表現力〕の内容については、次のように取り上げられている。</p> <p>・話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～伝えたいことの内容を明確にし、スピーチで効果的に伝えるための構成を考える活動や、話題や展開を捉え、互いの発言を結び付けて考えをまとめる活動</p> <p>第2学年～資料や機器を活用して説得力のあるプレゼンテーションを行ったり、互いの立場や意見を尊重しながら話し合ったり、結論を出したりする活動</p> <p>第3学年～相手や目的に応じて思いや考えが伝わるように表現を工夫する活動や、多様な意見を理解し、互いの意見を生かして話し合い、合意を形成する活動</p> <p>・書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～調べて分かった事実や考察について構成を考えてレポートを書く活動や、根拠を明確に示し、自分の意見が伝わる文章を書き、感想を交換する活動</p> <p>第2学年～多様な方法で集めた材料を整理し、読み手の立場に立って表現を工夫する活動や、根拠の適切さについて吟味して意見文を書く活動</p> <p>第3学年～集めた材料を吟味し、目的や意図に応じて文章の種類を選択して書く活動や、論理の展開や表現の仕方を工夫し、説得力のある批評文を書く活動</p> <p>・読むことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～詩に描写されている風景や、込められている思いを想像し、音読する活動や、目的に応じて必要な情報に着目して要約する活動</p> <p>第2学年～登場人物の言動の意味を考えて作品を読み深める活動や、複数の文章を読み比べて、構成や論理の展開、表現の工夫について考える活動</p> <p>第3学年～作品の展開や表現の仕方に着目し、批評する活動や、文章に書かれている内容の妥当性を吟味・検討しながら読む活動</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「てびき」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などの描写をもとに読み取ったり、文章の構成や表現の工夫について発表し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～「てびき」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、構成や表現を工夫して記事を書き換えたり、場面の描写を比較し、場面の展開や表現の効果について交流したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>	

	<p>第3学年～「てびき」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物のものの見方や考えについて考え、人物像をつかんだり、筆者の主張をその根拠について捉え、書き方の工夫について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
内容の構成・排列・分量等	<p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～段落の役割や段落どうしの関係を捉え、文章の構成や表現の効果について考える活動の後に、事実と考えとの関係を捉え、要旨をつかみ、必要な情報に着目して要約する活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～第1学年の日常生活から題材を決め、出来事や思いがいきいきと伝わるように随筆を書く活動の後に、表現の効果を考えて描写し、想像した場面が伝わるように工夫して物語を書く活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～第2学年の話し手の意見や根拠に注意して聞き、自分の考えと比較する活動の後に、話の展開を予測しながら聞き、内容や表現の仕方を評価して自分の考えを広げたり深めたりする活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
使用上の配慮等	<p>○おすすめの本のポップを作り、その本の魅力を紹介し合う活動（第1学年）や社会生活とつながりのある体験学習について、それぞれの場面に応じたスピーチ活動（第3学年）をとおして、相手意識や目的意識を明確にするとともに、様々な種類・テーマの本を紹介した「読書案内」（全学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○「領域別教材一覧」で、既習事項を振り返らせたり、今後の学習の見通しをもたせたり（全学年）、「言葉の学習を始めよう」に、国語の学習の意義を示したり（全学年）するなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○『言葉の力』一覧』で中学校3年間の学習を見通したり振り返ったり（全学年）、脚注欄などの小さめの文字や色文字の振り仮名にはゴシック体を用いたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、個別最適な学びの実現ができるように工夫されている。</p>
その他	<p>※中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 国語

番号	発行者略称	教科書番号
観点	三省堂	015-72、015-82、015-92
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等〕	<p>○〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～防災に関する情報を整理してリーフレットを作成する活動や、古文の音読や故事成語の成り立ちを理解することで、古典の世界に親しむ活動</p> <p>第2学年～水問題に関する情報を整理し自分の考えをまとめる活動や、古文の随筆や歴史書を読んだり、漢詩に触れたりすることで古人のものの見方や感情、考え方を知る活動</p> <p>第3学年～信頼性のある情報の重要性を知り、信頼できる情報を使って考えを書く活動や、和歌や漢文を歴史的な背景などに注意しながら読み、作者のものの見方や考えを捉える活動</p> <p>○〔思考力・判断力・表現力〕の内容については、次のように取り上げられている。</p> <p>・話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～日常生活を振り返り話題を決めてスピーチを行う活動や、話題や展開に沿って話し合うなかで相手の発言をとりいれつつ自分の考えを確かめる活動</p> <p>第2学年～社会生活の中から題材を探して資料や機器を活用しつつ発表を行う活動や、地域の魅力を伝えるために互いに伝える内容を話し合い情報誌としてまとめる活動</p> <p>第3学年～公の場において聞き手の状況に応じ内容や話し方を工夫して伝える活動や、中学校を振り返って心に残った言葉を集めて編集し、互いに交流を深める活動</p> <p>・書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～必要な情報をわかりやすく整理し、根拠を明確にしつつ考えを述べる活動や、身のまわりから見つけた思いや発見をリズムに重点を置きつつ推敲して詩を作る活動</p> <p>第2学年～社会生活における出来事や問題に対して組立を考えて説得的な文章を書く活動や、日常的に心に残った心情やことがらを日本古来の決められた形式に凝縮する活動</p> <p>第3学年～与えられた条件に応じて表現を工夫し、説得力のある文章を書く活動や、観察・調査・分析を通して物事のよしあしを見極めその判断を的確に表現する活動</p> <p>・読むことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～説明文の基本構造や論理を理解して内容を捉え要約する活動や、小説において語り手の視点のあり方や描写の効果に注意しつつ表現を読み取る活動</p> <p>第2学年～説明文の論理の展開を理解して図表や文章などを結び付けて主張を捉える活動や、登場人物の設定や場面の展開の仕方を考えることで小説の仕掛けを理解する活動</p> <p>第3学年～文章の構成や論理の展開の仕方を批判的に捉えて評価する活動や、文芸作品に込められた作者のものの見方や考え方を表現することをとおして考え、自分の意見をもつ活動</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～教材冒頭の「目標」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、人物像や人物の心情の変化を話し合ったり、要旨を捉え筆者の考えに対して自分の考えをもったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>	

	<p>第2学年～教材冒頭の「目標」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章と図表を関連付けて筆者の考えを捉えたり、今までに学習した作品を元に創作を行い発表しあうなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～教材冒頭の「目標」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、社会のあり方と表現との関係について自分の考えを広げたり、学校生活を振りかえり互いに交流したりなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
内容の構成・排列・分量等	<p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～人物の置かれた状況や行動の変化、情景描写によって心情について考えさせる活動の後に、過去を回想する構成や語り手の視点の置き方という仕組みについて考えさせる活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～体験から導き出された意見を書くという第1学年で行った活動を発展させ、相手を読みたくなる仕組みに着目して文章の構成を考えたり、相手が納得する根拠を探しつつ書く活動を取り扱ったりするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～社会的課題について意見を交換しつつ情報誌としてまとめるという第2学年の活動を踏まえて、身近な生活を振り返ってそれぞれが見出した発見を発表して鑑賞し合う活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
使用上の配慮等	<p>○相手と目的に応じて気持ちが伝わるよう手紙を書く活動（第2学年）や、公の場で聞き手の状況に応じて話をする活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、様々な場面で活用できる実践的知識や具体的な学び方をまとめた「社会生活に生かす」を巻末の「資料編」中に収録する（全学年）など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○本編の直前に「思考の方法」の一節を設けることで考えることの意味を意識づけたり（全学年）、各教材の冒頭に「学習目標」を提示し、末尾には学習を振り返る機会を設けたり、「読むこと」の教材には「読み方を学ぼう」で思考力・判断力・表現力を伸ばす方法を示したり（全学年）するなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○冒頭に「領域別教材一覧」を付けることで身に付けた力の自覚と達成感を促したり（全学年）、色覚の特性を考慮し、誰にでも見やすく、学びやすい配色となるよう工夫したり（全学年）するとともに、端末を活用した学習活動に使えるものとして二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	<p>※中学校用教科書目録(令和7年度使用文部科学省)による</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 国語

番号	発行者略称	教科書番号		
観点	教出	017-72	017-82	017-92
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等〕	<p>○〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～情報同士を比較して言葉と画像を組み合わせ広告を作る活動や、昔話などの古典作品を読んで様々な作品があることを知り、古典の仮名遣いに触れる活動</p> <p>第2学年～情報の効果を考えたり小説を脚本に書き換えたりする活動や、枕草子などを読んで、当時の人のものの見方や考え方に対して自分の考えをもつ活動</p> <p>第3学年～複数の社説から情報を捉え、意見や主張について考える活動や、和歌のリズムや内容の特徴を理解して作者の心情を想像し、和歌を味わう活動</p> <p>○〔思考・判断・表現〕の内容については、次のように取り上げられている。</p> <p>・話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～伝えたいことを明確にしてお気に入りの一品を紹介する活動や、互いの意見を整理しながら話し合い、自分の考えをまとめる活動</p> <p>第2学年～異なる立場や考えを取り上げて、ニュースや出来事を紹介する活動や、考えの共通点や相違点を捉えながら討論し、結論をまとめる活動</p> <p>第3学年～話し手の表現を評価しながら聞き、自分のスピーチを改善する活動や、互いの考えを尊重しながら話し合い、合意できる結論を出す活動</p> <p>・書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～目的や意図に応じて集めた材料を整理して案内文を書く活動や、客観性のある資料を参考に根拠と主張のつながりを明確にして意見文を書く活動</p> <p>第2学年～伝えたいことを明確にしながら新聞の投書を書く活動や、表現の効果を確かめながら、適切な言葉を選び、日常で活用する場面を想定した手紙やメールを書く活動</p> <p>第3学年～論理の展開を考えて説得力のある批評文を書く活動や、読み手の助言を踏まえて、目的に応じた内容や表現を工夫し、自己PR文を書くなど自分の生活に活用する活動</p> <p>・読むことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～作品の構成や展開、人物の関係を捉えて作品の特徴を説明する活動や、論理の展開や表現の工夫を捉え、筆者の説明の意図をまとめる活動</p> <p>第2学年～作品の印象に残った表現とその効果について考えをまとめる活動や、論の展開と主張を捉えながら知識や経験と結び付けて考えをまとめる活動</p> <p>第3学年～語りに着目しながら作品を読んで考えをまとめる活動や、構成や展開、表現の仕方を比べて読み、社会や他者との関わりについて考える活動</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、作品の時間的な場面の展開に着目しながら読んで気付いたことを話し合ったり、論の構成や展開に着目して読みながら筆者の主張の背景を捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>			

	<p>第2学年～「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、語り手の視点を捉えながら読み、登場人物の人物像について考えたり、文章を読み比べて筆者による論の構成や表現の意図の違いを捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、作品の特性や価値について批評しながら読んで、自分の意見をもったり、文章の構成や展開の仕方を評価しながら読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
内容の構成・排列・分量等	<p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～段落の役割を意識して文章の構成や展開を考えながら紹介文を書く活動の後に、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを見直したり、確かめたりしながら報告文を書く活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～第1学年の中心となる内容と、それを説明する内容の関係を踏まえてスピーチの構成を考えて話す活動の後に、課題を多面的に捉えて設定し、根拠の適切さや論の展開に注意して自分の考えを伝える活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～第2学年の物語の構成や展開を意識して表現の効果を考えながら連作ショートショートを書く活動の後に、中学校での学習を振り返り、情報をまとめて読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
使用上の配慮等	<p>○持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する活動（第1学年）や社会問題の中からテーマを決めて、複数の情報を取り扱い、情報の信頼性を確かめながら新聞記事を書く活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、生徒の学びを深める読書案内として「広がる本の世界」を掲載する（全学年）など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○「みちしるべ」や「学習活動の流れ」などで学習の重点を示したり（全学年）、各単元における教材の冒頭に学習目標を示したり（全学年）するなど学び方を示すことで、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○「言葉の地図」で教材の指導事項や言語活動を総覧できる一覧や自ら学習を振り返る観点を示したり（全学年）、明朝体やゴシック体を基本としながら、UDに対応した独自の教科書体を使用したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど使用上の便宜が図られている。</p>
その他	<p>※中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 国語

番号	発行者略称	教科書番号
観点	光村	038-72、038-82、038-92
取扱内容  学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<p>○〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～本やウェブサイトから集めた情報を基に、自分の考えをまとめる活動や、作品を音読して古典のリズムを味わい、古典の世界を想像する活動</p> <p>第2学年～話の筋や論点を整理するために、情報と情報の関係を図で整理する活動や、作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむ活動</p> <p>第3学年～発信者の立場や意図を推測し、情報の信頼性を吟味する活動や、古典の文章の中から自分の心に響いた言葉を引用し、メッセージを書く活動</p> <p>○〔思考力・判断力・表現力〕の内容については、次のように取り上げられている。</p> <p>・話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～わかりやすく伝えるために、話の構成を工夫してスピーチする活動や、話題や展開を捉えて話し合い、その結果をクラス全体に報告する活動</p> <p>第2学年～話の構成を工夫し、資料や機器を使ってプレゼンテーションする活動や、異なる立場や意見を尊重し合いながら討論する活動</p> <p>第3学年～意見を聞いて適切さを判断し、スピーチをよりよくするための助言を考える活動や、身近な話題について話し合い、合意形成を図る活動</p> <p>・書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～情報を取捨選択し、まとめ方や順序を工夫して文章を書く活動や、引用の仕方に注意し、根拠を明確に示してレポートにまとめる活動</p> <p>第2学年～目的に応じて多様な方法で情報を集め、整理し、伝えたいことを紙面にまとめる活動や、表現の効果を考えて、描写を工夫して物語を書く活動</p> <p>第3学年～課題に沿って情報を読み取り、文章の構成や論理の展開を考えた小論文を書く活動や、広告について客観的に分析し、批評文を書く活動</p> <p>・読むことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～登場人物の心情の変化をとらえ、図などを使って整理する活動や、本文を要約して筆者の主張をつかみ、立場を明確にして意見をまとめる活動</p> <p>第2学年～伏線と結末の関係を読み解き、登場人物の言動の意味を考える活動や、観点を明確にして文章を比較し、構成や表現の効果について考える活動</p> <p>第3学年～登場人物の考え方や行動を批判的に読み、作品を批評する活動や、論説の比較を基にグループで討論し、自分の考えをまとめる活動</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「学びへの扉」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、場面や描写を結び付けて内容を解釈したり、文章の構成や表現の効果についてグループで語り合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>	

	<p>第2学年～「学びへの扉」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章の構成や、人物や出来事を語る時の表現から、筆者の思いを考えたり、人物像や表現の効果など、自分の選んだ観点で作品の魅力を捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～「学びへの扉」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章に表れた筆者のものの見方や考え方について考えたり、表現に着目して詩を読み、社会について考えたことを伝え合ったりするなど考えを広げたり深めたりする活動</p>
内容の構成・排列・分量等	<p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～必要な情報を判断してメモを取りながら聞き取り、情報を整理して伝える活動の後に、聞き方や質問の仕方を工夫して相手の話を引き出し、対話を充実させる活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～第1学年の文章の構成や展開の効果を考え、根拠を明確にして自分の考えをまとめる活動の後に、文章の構成や論理の展開を吟味し、自分の考えを文章にまとめる活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～第2学年の対話を通して、国語を学ぶ意義を考えてまとめる活動の後に、3年間の国語の学びを振り返り、「これまで」と「これから」の学びについて冊子にまとめて発表会を行う活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
使用上の配慮等	<p>○読み手の立場に立って、案内文を推敲する活動(第1学年)や社会生活の中から自分が訴えたいことを見つけ、クラス全体に向けてスピーチをする活動(第3学年)を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、多様なテーマを扱った読書単元「いつも本はそばに」(全学年)を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされており、大変よくできている。</p> <p>○「学びのカギ」で、学習の流れや学習のポイントを明確に示したり(全学年)、各教材の「振り返る」で、自分の言葉で学びを価値づける場を設けたり(全学年)するなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○「学習の見通しをもとう」で1年間の学習を見渡したり(全学年)、漢字の読み仮名などの小さな文字にUD書体を用いたり(全学年)するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
その他	<p>※中学校用教科書目録(令和7年度使用 文部科学省)による</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>